

# 国語（現代文 A）

履修単位	2単位	学年	2年	学科・コース	商業科	区分	(必修)・選択
------	-----	----	----	--------	-----	----	---------

## 1 学習内容と学習目標

<p>《学習内容》</p> <p>①近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させる。②言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付ける。③文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。④文章や弁論、詩歌などの創作を通じて、表現活動に親しむ姿勢を養う。</p> <p>《学習目標》</p> <p>近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>
---

## 2 教材等

現代文 A（東京書籍）  
常用漢字ダブルクリア（尚文出版）

## 3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連)	考 査 範 囲
一 学 期	① 〈随想〉 さくらさくらさくら	4	①筆者の「桜」に対する考え方を読み取り、桜に寄せる日本人の考え方を理解する。	○漢字の書き取りを定期的に提出する。	中 間 考 査
	② 〈小説〉 みどりのゆび	5	②主人公の心情を読み取り、人間と自然の生命のつながりについて考えを深める。		
	③ 〈詩歌〉 信濃路【短歌】 春雷【俳句】	6	③短歌独自のリズムを味わい、表現に即して、作品に込められた作者の心情を理解する。 俳句独自のリズム、季節感、イメージを味わい、そこに込められた作者の心情を理解する。		期 末 考 査
	④ 〈随想〉 少女たちの「ひろしま」	7	④戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える。		
二 学 期	⑤ 〈評論〉 ミロのヴィーナス	9	⑤各段落の要点、文章の構成、筆者がこの文章を書く動機となった着想を理解する。	○漢字の書き取りを定期的に提出する。  ○校内弁論大会と連動させる。	中 間 考 査
	⑥ 〈小説〉 真面目な二人	10	⑥会話や行動に注意して読み、人との交流の中で成長していく主人公の心情を理解する。		
	⑦ 〈評論〉 「身銭」を切るコミュニケーション	11	⑦筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションの在り方について理解する。		期 末 考 査
	⑧ 〈言語活動〉 外国文化の影響を調べて発表する	12	⑧日本文化に影響を与えたと思われることを探し出し、その内容を調べて考察する。また、考察した内容を論理的に構成し発表する。		
三 学 期	⑨ 〈評論〉 豊かさと生物多様性	1	⑨論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性和課題について理解を深める。	○漢字の書き取りを定期的に提出する。	学 年 末 考 査
	⑩ 〈小説〉 山椒魚	2	⑩山椒魚や蛙の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える間について理解する。		
	⑪ 〈言語活動〉 読み比べて考える	3	⑪テーマに関連のある本に書かれていることから自分の考察を広げる。		

《提出物》 ① 单元ごとの作品 ② 長期休業中の課題 ③ 授業で出される課題 ④ 授業で使用したプリント、ノート
《評価方法》 ① 作品の内容 ② 各考査の点数 ③ 出席 ④ 小テストへの取り組み ⑤ 授業態度（忘れ物の有無も含む） ⑥ 課題等の提出状況
《年間の学習状況の評価方法》 後に示す5つの観点から評価した1～3学期の成績から総合的に判断する。

#### 4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」「読む能力」及び「知識・理解」の5つの観点から評価します。具体的な評価の基準は下の表を参考にしてください。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	学習活動に積極的に参加し、国語に対する関心を深め、その能力の向上に努めている。	授業中の態度、ノート・課題の提出状況、内容。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめ、状況に応じて適切な言葉で伝えられる。また、人の発言を的確に聞き取れる。	授業中の発表の仕方やその内容、話を聞くときの態度。
書く能力	考えをまとめ、筋道立てて書くことができる。その際、正しい漢字、適切な表現を使うことができる。	授業や課題で書いた作品。
読む能力	文章を適切な音量で正確に音読できる。また、その内容を的確に把握できる。	授業での指名読みの状況、授業中の質問に対する答えの内容。
知識・理解	国語による表現と理解に必要な語彙力・漢字力を身に付けている。	ノート・課題の内容、小テスト、考査。

#### 5 授業を受ける際の注意事項

- ① 授業の前には必ず教科書を読んで予習をしておくこと。その際、わからない語句はノートに調べておきましょう。
- ② 考査の前には準備をしっかりして、毎回全力を尽くしましょう。
- ③ 授業中の態度、課題の提出、小テストの結果も考査同様に重視されます。毎回しっかり取り組みましょう。
- ④ ノートはあなたの学習の足跡です。後で見直すときに読みやすいように丁寧にまとめましょう。
- ⑤ 授業中の質問に対しては、間違えても構いませんから、必ず自分なりの答えを考えましょう。